

# 巨星墜つ

## 義正翁逝去

昭和一〇年に岩中を襲つた最大の悲しみは、創立者・三田義正翁の逝去である。義正翁が秩父宮台臨でずいぶんと心労したことは否めないだろう。台臨が無事終わったあと、周囲に「疲れた」と漏らしたともいわれる。そして年末にひいた風邪がもとで病床の人となり、ついに再び立つことがなかった。

大晦日の早朝、義正翁危篤の報に接した生徒数人は教師の運転する車で加賀野の川留稲荷へ向かい、全快祈願をした。川留稲荷は三田家が再建した、いわば翁ゆかりの神社である。

しかしその祈りも空しく、昭和一〇年一月三一日午後八時一五分、義正翁は不帰の客となった。享年七五歳。生徒たちは翌一年元旦の新年拝賀式が終わったところで校長から翁の訃報を知らされ、愕然とした。

生前、多忙な義正翁が生徒と直接に接することとはけつして多くなかったが、生徒たちの目にはその姿が印象深く焼きついていた。

勤労園に、メリヤスの股引きをはき、紺のきやはんに尻はしよりといういでたちで現れ、率先して汗を流したこともある。

勤労精神を培うためにと、校舎の前にブドウ棚をつくつたり、植林のためにと生徒に桐の苗

木を三本、五本とわけたこともあった。

校庭の大きなケヤキに砲丸を投げて遊んでいたら、木を大切にせよと翁に叱られた生徒もいた。

入学式にあとで「これは一年生か、偉くなれ」と新入生に語りかけ、寄宿舎に立ち寄つた折、「外套を帽子掛けにお掛けします」と申し出た寮生に「いい」と答え、「みんなは元気でいるか」と祖父のやさしきで尋ねた。

秩父宮殿下台臨の日をひかえ、大掃除をしていると、「やあ皆さん、ご苦労、ご苦労」とねぎらい、校長に「生徒の働きぶりには恐れ入りました。あとで褒めてやってください」と喜んでいた。

その元気な姿に接することはもうできなくなつたが、創立者・三田義正理事長の思い出とその精神は、学園とともに永遠の命を持つにいたつたのである。

葬儀は、風凍る一月四日午後一時二〇分から、久昌寺でしめやかにかつ盛大に営まれた。参列者は八〇〇名あまりに達し、まれに見る盛儀と報じられた。

## 待望の新校舎落成

義正翁亡き後、ただちに後継者・三田義一が理事長に就き、父の志を受け継いで学校経営に

当たることとなった。義一理事長は、義正翁が生前構想し、職員・生徒をはじめとする学校関係者の誰もが待ち望んでいた校舎新築に着手した。昭和一二年には仁王田圃の現在地に新たに土地を求め、盛岡市出身の工学博士・葛西万司に設計を依頼した。葛西博士は、東京帝国大学建築科を卒業後、恩師・辰野金吾博士とともに設計事務所を創立し、日本銀行や東京駅、両国国技館、第一生命相互館、盛岡銀行（現岩手銀行中の橋支店）などの設計を手掛けた近代建築の第一人者である。

こうして、新校舎の建築は昭和一二年八月に起工され、工費一四万円、工事期間一七四日、延べ人員九四九〇人を要して昭和一三年一月に竣工した。

校舎は「工」の字形で、両側に講堂と雨天体操場を配し、棟数は八棟を数える。そのなかに普通教室一〇室、合同教室・図書室・理化学教室・博物教室があり、総室数は四四室に達する。講堂は木造瓦葺きで、要所に鉄筋コンクリート造防火間仕切りを設け、ローリングシャッターの設備を施した。とくに注意が払われたのは、室内の通風・採光・照明、それに水道などの保健衛生諸設備であった。

昭和一三年二月二日、雪の降るなか、待ちかねたように大沢川原の旧校舎からの引越し作業が職員・生徒総出で行なわれた。生徒は机と椅子を各自で運び、大きな物はソリで運んだ。

秩父宮殿下台臨の際ご休憩所となった一室は、原形のまま新校舎の中央に移転建築するため、いったん解体して運んだ。教師の指揮で進むソリが材木町の曲がり角で店に突っ込んだりした。奉安殿と国旗掲揚台はともにコンクリート造りのため、移転はたいへんな難事業となったが、全員がすすんで労力奉仕にあたり、一見不可能と思われたこの作業を成し遂げた。

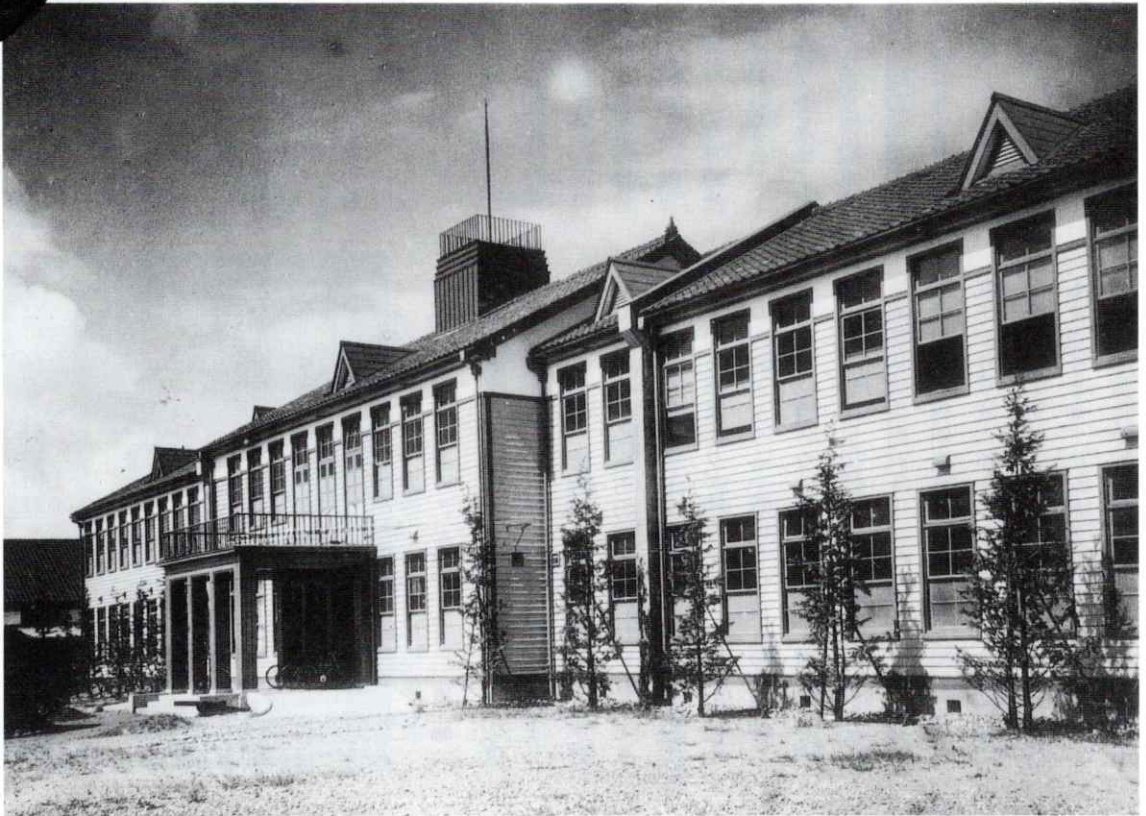
翌日から新校舎での授業が始まったが、薄暗かった大沢川原の旧校舎とは対照的な明るさに、生徒たちの気分は一新した。当時では東北一と言われた講堂の偉容、理科実験室や階段教室に生徒たちは鼻高々だった。盛中（盛岡中学）の校舎がボロだったのでなおさらだった。四面棒杭の柵に「今度は牢獄ではないゾー」と非常な解放感を覚えた。旧校舎が四面とも扉で囲まれていたからだ。

同年一〇月三〇日の落成式の日には記念の絵葉書もつくられた。折からの秋雨について招待客が続々と参集し、これに職員・生徒を合わせると一〇〇〇名を越え、さしもの大講堂もせまく感じられるほどの盛況となった。

新校舎で岩中生は意気軒昂だった。前年七月の蘆溝橋事件に端を発した日中戦争もいよいよ拡大の頃である。



三 田 義 一  
第2代理事長



葛西万治氏設計の新築校舎